



大阪南ブロック
EASTさかい支部
結婚相談所さかいレジェンデ
代表 岡崎 直人

鎮座

南海高野線中百舌鳥駅から泉北高速鉄道に乗車、すぐに地下へ降りしばらくすると高架線に移ります。3分ほど直線を高速走行した電車は、減速しながら大きく左カーブとなり私の事業所の最寄り駅「深井」に到着。右手に近代的な街には不釣り合いな森が見えます。この森は「常陵の森（とこはかのもり）」と言う鎮守の森であり、その森の中に、野々宮神社が鎮座されています。

火の宮 野々宮神社 堺市中区深井清水町3839番地

- ・主祭神は素戔鳴尊（すさのおのみこと）鎮火の神
- ・火産霊神 発火の神
- ・菅原道真公 文字の神

末 社 稲荷神社 稲荷大神

- ・春日神社 春日大明神、住吉大明神
- ・八幡神社 大国主命、誉田別命
- ・巖島神社 市杵嶋姫命、弁財天

ここは伊勢神宮 遥拝所となっています。



本殿



野々宮神社鳥居

湯里は温泉が湧いていて昔は湯里島と呼ばれていてそれが後に湯里になりました。針中野(はりなかの)は元中野村と砂子村で、中野鍼(なかのはり)という江戸時代より開業していた有名な鍼灸院が、近鉄電車の前身である大阪鉄道の開通に尽力し、そのお礼として最寄駅を針中野にし、それが地名になりました。桑津は「津」という名が表しているようにもともと港があった場所で、ここに応神天皇の御代に日向の国（今の宮崎県）より髪長媛と呼ばれる女性を迎え、当時は大鷦鷯尊(おおさざきのみこと)であった仁徳天皇が彼女を見初めて妃に迎えたといわれています。

由来

創建は不明ですが、現在の場所に鎮座されたのは400年前の天正年間（室町末期）と伝えられています。転座前は、深井中町にあった香林寺（明治の廃仏毀釈で廃寺）の敷地内にあったようで香林寺の鎮守社であったと考えられます。

境内には、勇壮な神さま（ほぼ男神）がズラリと鎮座されていますが、この聖域はなぜか女性的な空気を感じます。また、参拝者も女性の方のほうが多いような…

宮司さんにお話を聞きました。

現在の社家としては4代目にあたります。それまでの社家であった野々宮家が断絶したため現宮司さんの曾祖父が社家を引き継ぎ現在に至ります。野々宮さんといえば秋のだんじり祭りが有名ですが、やはり火の宮であるので12月12日の（お祭りは、12月第二日曜日）火祭りが大祭となります。

だんじり祭りは、10月5日（お祭りは、10月第一土、日曜日）に開催されます。土曜日が6台、日曜日が8台の全14台が宮入します。お祭りには、地域の方々が常にご奉仕されていて地元で愛されている神社だとわかります。氏地のほとんどがだんじりを所有し昔から壮大なお祭りなのか、と思っていたらそうではなかったようです。

神社から東の地区（深井水池町、深井沢町、深井東町）は、その昔、田園地帯で人は住んでいなかった、つまり神社は深井地区の東の端に位置していたのです。（今は、深井地区の中心に位置する形になります）そして、氏地には今ほど人が住んでおらず、今ほどたくさんの地区が無かった、というわけです。

神道

最後に、宮司さんからお言葉をいただきました。「心変われど、日本人が日本人であってほしい」日本人が数千年前から祈りつけてきた神さま。「私は無宗教、無信心」と言う人でも正月には初詣に行きます。聞くところによると、日本中で初詣には8千万人の方が参拝するそうです。無意識のうちに、どこかで神さまに手を合わせていますね。神さまや氏神様が身近な存在となることで、いろいろな気づきを得て事業にプラスとなることもたくさんあるはず。みなさんも、氏神様で商売繁盛のご祈禱を受けられてみてはいかがでしょうか？